



平成 19 年 1 月 25 日

各 位

会社名 サイオテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜多伸夫
(コード番号 3744 東証マザーズ)
問合せ先 取締役グローバルビジネス支援本部長
郷坪智史
(TEL. 03 - 6860 - 5107)

平成 18 年 12 月期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 2 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 12 月期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 12 月期の連結業績予想値の修正(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 予想値の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,067	△24	△174
今回修正予想(B)	5,125	△16	△184
増減額(B-A)	58	7	△10
増減率	1.2%	—	—

(2) 予想修正の理由

当期の Linux 関連事業の売上高は、2006 年 6 月に買収した米国 SteelEye Technology, Inc. のソフトウェア「LifeKeeper*」の売上伸長や、世界的な Linux スタンドアード製品「Red Hat Enterprise Linux」のサポート売上伸長により、前回発表予想を 1.6% 上回る 4,014 百万円の見通しです。また、Java 関連事業も、企業内業務システムの受託開発や自社ソフトウェア製品の売上が、ほぼ計画通りに推移し 1,111 百万円となる見通しです。結果として、当期の売上高合計額は前回発表予想を 1.2% 上回る 5,125 百万円の見通しです。経常利益は、販売管理費の削減等によって前回発表予想より赤字幅を縮小し、△16 百万円となる見通しです。税引前当期純利益は、事務所移転費用等の特別損失(110 百万円)により△114 百万円となる見通しであり、当期純利益は、繰延税金資産の取り崩し等により△184 百万円となる見通しです。

*LifeKeeper:稼働中の情報システムに障害が発生した際、待機システムへの切り替えを行うソフトウェア

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 平成 18 年 12 月期通期個別業績予想の修正(平成 18 年1月1日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 予想値の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,800	57	△92
今回修正予想(B)	4,843	72	△84
増減額(B-A)	43	15	7
増減率(%)	0.9%	26.4%	—
(ご参考)前期実績 (平成 17 年 12 月期)	4,247	268	222

(2) 予想修正の理由

売上高は、ほぼ計画通りの見通しです。経常利益は、販売管理費の削減により、前回発表予想を 15 百万円上回る 72 百万円となる見通しです。当期純利益は、繰延税金資産の取り崩し等により △84 百万円となる見通しです。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上